

# 物臭太郎杯 読書感想句コンクール 投票結果発表



本学の図書館（総合図書館中百舌鳥、経済・経営・法律系図書室、ヒューマンサイエンス系図書室、羽曳野図書センター、りんくう図書室）所蔵の本を題材に、その内容をユーモアや風刺のセンスで表現した読書感想句（川柳）を募集し、応募作品の中から入選作品 10 句を選出。さらに、その 10 句を対象に人気投票を実施しました。栄えあるベスト3はこちら！

## 物臭太郎賞は、投票数 109 票の内、42 票を獲得した 「本音と建前」さんの読書感想句に決定！

### 【投票理由】※一部抜粋

- 「最も本の内容がイメージしやすく、また、誰もが一度は感じたことがあるような心の叫びだったため。」
- 「就活生の胸の内を、5・7・5 という限られた字数の中でよく表現できていると感じた。」
- 「ポップな表現を用いて、就活時に体験した悲壮感をうまく表現しているため。」
- 「この句の作者が感じた、この場面の空気感がとてもうまく表現されています。」
- 「実際に似たような経験があった。」
- 「就活していて実感できたから！」
- 「作品とペンネームがマッチしている。」
- 「“ある、ある！”と素直に納得した。」

『服装・マナー』杉村太郎、坂本章紀著

え、なんで!?  
私服も可って  
言っただじやない!!  
(本音と建前)



興味がわいたら、  
ぜひ本も読んでね！



## 金賞は、得票数 24 票の 「りりい」さんの句！

### 【投票理由】※一部抜粋

- 「九年間、枕として愛用してきたので共感しました。」
- 「上下巻ともに使って、有効な即席枕にしていた経験が同じようがありました。」
- 「読んでいると眠くなるほど難しいのか、枕の代わりにしたいほど楽しいのか気になるので、選びました。」

『ボルハルト・ショーア現代有機化学』K.P.C. Vollhardt, N.E. Schore 著  
大島幸一郎「ほか」訳

試験前  
枕の代わり  
ボルハルト  
(りりい)



## 銀賞は、得票数 14 票の 「天秤座の人」さんの句！

### 【投票理由】※一部抜粋

- 「リズムがとても良いことと、読んでクッとしたから。」
- 「ボルハルトと迷いましたが、こちらにしました。さらっとしたつつこみが良いと思いました。」
- 「タイトルを真っ向から否定しているのが良いなと思いました。タイトル同様、全てひらがなのも良いです。」

『きつねのはなし』森見登美彦著

きつねより  
いたちぢやないの  
このはなし  
(天秤座の人)



### 上記以外の入選作品

彼は言う  
それでも生きると  
サブマリ  
(TKD)

『サブマリ』伊坂幸太郎著

乗用車  
本の中では  
証言者  
(てっや)

『カソリン生活』伊坂幸太郎著

話せるか?  
二十五条の  
本質を  
(深緑)

『健康で文化的な最低限度の生活』柏木ハルコ著

ピンポーターが  
わからなくなる  
かわざ  
(桃尻おばさん)

『貧乏サヴァラン』森茉莉著、早川暢子編

受け皿で  
紅茶飲んだ  
こともある  
(一七)

『アフタヌーン・テイの楽しみ』英国紅茶の文化誌  
出口保夫著

未体験  
仮想体験  
実体験  
(お調子もの)

『ザ・世のながか』そのうち身になる読書案内  
バオロ・マツァリアーノ著

英語読む  
マシンに燃やす  
ライバル心  
(椿林)

『韻律と音声言語情報処理』アクセント・イントネーション・リズムの科学』広瀬啓吉編著



## 物臭太郎とは・・・

たいへん物臭な太郎が、歌や連歌の才能によって、立身出世する御伽草子。総合図書館中百舌鳥では、もと冊子本であったものを巻子に改装したものを所蔵。本巻は絵巻系の中でも最も原絵巻に近いもので、且つ書写年代も原絵巻の成立時よりそれほど時間が経過していない時のものとされ、慶長期を下らぬ頃のものとしてされています。

